

2,000km離れた土地・沖縄の文化を見て・触れて・学ぶ

# 琉球を感じる

## ミニワークショップ&コンサート

宮古市民文化会館 | 三陸AIR

琉球舞踊編

2月12日(日)  
14:00 ~ 15:00

古典音楽編

2月21日(火)  
19:00 ~ 20:00



三陸AIR「琉球と三陸の芸能交流」  
琉球舞踊・組踊・三線・琉球箏・沖縄芝居など琉球の芸能の次代を担う高井賢太郎、棚原健太、町田倫士。雪が降らない沖縄を拠点に活動している3人が雪深い季節に宮古市に2週間滞在する。多様な郷土芸能のリサーチや地域交流等を行い文化の共有と新しい出会いを目指す。



主催：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター  
助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会  
企画・製作：宮古市民文化会館

## 琉球舞踊編

沖縄の伝統芸能とはというところから琉球舞踊が一体どのようなものなのか、実演を交えて解説します。参加者には琉球舞踊を実際に身体を動かしながら簡単に体験してもらいます。白塗り化粧の実演も行います。

【日時】 2023年2月12日(日) 14:00～15:00  
【場所】 宮古市民文化会館 中ホール  
【定員】 30名  
【参加費】 無料  
【持ち物】 特になし

## 古典音楽編

実演を交えながら沖縄の音楽や楽器について解説します。琉歌と呼ばれる沖縄の歌をみんなで即興的につくってみるという体験を行います。WSの最後には23日の公演がもっと楽しくなるよう演目の解説やみどころも紹介します。

【日時】 2023年2月21日(火) 19:00～20:00  
【場所】 宮古市民文化会館 中ホール  
【定員】 30名  
【参加費】 無料  
【持ち物】 特になし

### WEB申込

右記QRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください。



### お問合せ

宮古市民文化会館 TEL:0193-63-2511  
(宮古市磯鶏沖2-22)

主催:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)独立行政法人日本芸術文化振興会  
企画・製作:宮古市民文化会館(令和4年度自主企画事業 | 三陸AIR)

## Artist Message

沖縄の伝統を通して、皆さまとつながれることを楽しみにしています。



### 棚原 健太

宮古市の皆さま、はじめまして。沖縄生まれ沖縄育ち、三線奏者の棚原健太です。私が生まれ育った沖縄は「歌と踊りの島」と言われるほど、たくさんの芸能が生活に根付いています。今回のワークショップでは沖縄の音楽や楽器について、解説と実演を交えてご紹介したいと思います。また、沖縄の音楽を使った「即興プログラム」にも挑戦したいと考えております！

沖縄県出身。琉球古典音楽野村流保存会 所属(比嘉康春に師事)。19歳から本格的に三線を始める。沖縄県立芸術大学では、沖縄の伝統芸能や関連する芸能史等について学ぶ。のちに同大学院に進学。国立劇場おきなわ組踊養成研修では人間国宝をはじめとする講師陣から琉球古典音楽および組踊・琉球舞踊の地謡実技を学ぶ。現在は県内外の琉球芸能公演への出演ほか、WSやアウトリーチなどで組踊や琉球古典音楽の普及活動に取り組んでいる。2019年年度 沖縄タイムス 伝統芸能選考会 三線の部 グランプリ 受賞。(一財)地域創造 公共ホール邦楽活性化事業 登録演奏家(令和4・5年度)。



### 高井 賢太郎

はいさい、初めまして。琉球舞踊の高井賢太郎です。神奈川で生まれ育った私が沖縄の伝統芸能に出会ったのは、学生の頃でした。その音楽と舞にただただ衝撃を受け、これを学ばなければ人生後悔するのでは。と…出会った翌年から沖縄に通いつめました。その昔一国であった、沖縄、琉球。その文化は豊かです。だからこそ皆、心豊かです。そんな沖縄の伝統に触れてみませんか？緑もゆかりもない私が惹かれたこの伝統の魅力を熱く語らせてください。

神奈川県出身。玉城流敏風利美の会所属(仲間若菜、安次嶺利美に師事)。日本体育大学体育学部武道学科 伝統芸能領域にて、伝統芸能を学ぶ中で琉球舞踊、組踊に出会う。沖縄県立芸術大学(修士課程)を修了。国立劇場おきなわの組踊養成研修では、人間国宝をはじめとする講師陣から組踊実技、琉球舞踊を学ぶ。現在は、国立劇場おきなわ主催公演はじめ県内外での舞台出演やワークショップや組踊の普及活動に取り組んでいる。その他、琉球芸能公演の自主制作活動にも取り組んでいる。第55回琉球新報琉球古典芸能コンクール琉球舞踊部門最高賞受賞。



### 町田 倫士

初めまして、琉球箏奏者の町田倫士です。私は沖縄に生まれ育ちました。幼いころから気づけば、そこにあったエイサーの音、三線の音…沖縄の伝統に心惹かれていました。古きを学ぶ伝統…意外と現代を生きる私たちにも共感できることがたくさんあります。また、古くから伝わってきたその歌や教えには普遍的な学びもあるわけです。そんな、今を生きる私たちと皆様と、一緒に沖縄の伝統に触れる時間を過ごせたらうれしいです。

沖縄県出身。琉球箏曲興陽会・琉球古典音楽湛水流保存会所属(山内照子に師事)。幼少期からのエイサー好きが高じて伝統芸能の道へ。琉球大学 法文学部 国際言語学科琉球アジア文化専攻にて、琉球文学・中琉関係史について見識を深めたのち、沖縄県立芸術大学(修士課程)へ進学。国立劇場おきなわ組踊養成研修では、人間国宝をはじめとする講師陣から組踊・琉球舞踊の地謡実技や琉球箏曲を学ぶ。現在は、国立劇場おきなわ主催の企画公演のほか、紀尾井ホールでの公演など、県内外で舞台活動に取り組んでいる。第53回琉球新報 琉球古典芸能コンクール 箏曲部門最高賞受賞。